

読んで観て聴く

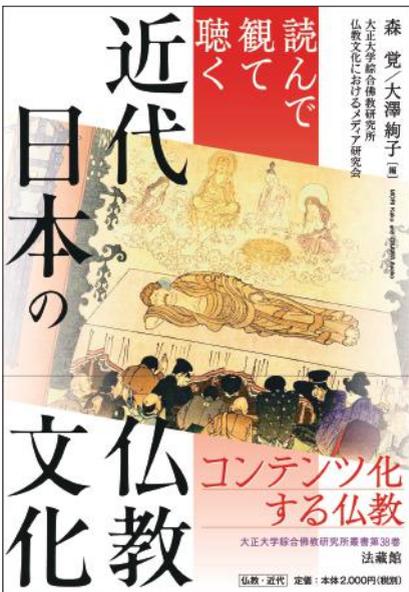
大正大学総合佛教研究所叢書 38

近代日本の仏教文化

仏教・近代

もり かく おおさわ あやこ
森 覚・大澤 絢子 編 ▼ 46判・並製カバー・400頁・定価 二、二〇〇円

2024年3月刊行



新旧のメディアを介して日常の様々な場に現れ、広く人々に共有された「信じる」「学ぶ」「楽しむ」が絡み合う仏教文化の諸相を捉える。

【目次】

はじめに

(森 覚)

III 聴く

第一章 三遊亭円朝と仏教

—日蓮宗と慈善事業—

(小二田誠二)

第二章 明治期の講談と仏教

(金山泰志)

第三章 近代における日蓮伝と浪花節

—雲石衛門と日蓮記—

(ブレニナ・ユリア)

第四章 声と音の空海像

—近代高野山の金剛流— 詠歌とトーカー—

(井川裕寛)

第五章 戦前期日本のラジオ放送と仏教

—「朝の修養」で培う精神—

(大澤 絢子)

おわりに

(大澤 絢子)

編者・執筆者・訳者略歴

編者・執筆者・訳者略歴

◆ 編者略歴

森 覚(もり かく)

一九七五年生まれ。専門は絵本学・比較文化比較芸術論・表象文化論。大正大学大学院文学研究科比較文化専攻博士課程修了。博士(文学)。大正大学・帝京大学短期大学・常盤短期大学非常勤講師。仏教文化におけるメディア研究会会長。

大澤 絢子(おおさわ あやこ)

一九八六年生まれ。専門は宗教学・社会学・仏教文化史。東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻博士課程修了。博士(学術)。日本学術振興会特別研究員(PD)。

II 観る

第六章 最澄絵伝の歴史的展開

—大正期から昭和期を中心に—

(高橋洋子)

第七章 大衆文化としての「日本画」と仏教

—狩野芳崖「悲母観音」の事例から—

(君島彩子)

第八章 明治後期の仏伝演劇

—劇詩と歌劇のなかの釈迦— (マイカ・アワーバック)

第九章 日蓮の「聖地」身延山へのツーリズム

—教養主義、富士身延鉄道、高山樗牛— (平山 昇)

第一〇章 旅行記からテレビまで

—近代仏教とシルクロードの想像—

(パリデ・ストルティエーニ／嵩 宣也訳)

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 注文書 | 様冊 |
| (書店印) | ご担当 |
| 森 覚・大澤 絢子 編 | 法藏館 |
| 読んで観て聴く | 定価 二、二〇〇円 |
| 近代日本の仏教文化 | (住所) |
| 【大正大学総合佛教研究所叢書38】 | お電話 |
| ISBN : 978-4-8318-5584-8 C1015 | お名前 |

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp